

<b>学習の友</b>	<h1>学習会 にゅーす</h1>	静岡県労働者学習 協会静岡支部発行  2022年4月15日 No.115
-------------	-----------------------	--



## 未組織労働者とユニオンをつなげ

### 成長できる地域の居場所をつくろう!!

今回は、特集記事の「地域の労働者とともに手を取り要求前進を! ローカルユニオン 個人加盟ユニオンの発展を!」(原英彦全労連常任幹事)を読み合わせしました。コロナ禍が長期化するなか、雇用悪化、生活に困窮する未組織労働者と、ローカルユニオンや各産別組織の個人加盟ユニオンを結ぶ取組みを全労連はいま展開しています。前進をしている組織に共通しているのは、「組織がしっかりと地域に根をはって労働組合として要求運動を実践できているかどうか」と指摘します。また、最近、最も多い労働相談内容が「ハラスメント」と個人的問題となり、職場の仲間を誘い相談内容の解決と労組づくりを一体とした従来の取組みとはなくなっています。「こうしたなかで、労働者として集まり、学び、成長する地域組織の居場所づくりと学習サポート体制の確立がもたれらるることとなります。地域の仲間とともに学ぶ、要求し、レクリエーションも楽しみながら労組の役割学習や魅力の共有をする取組みを大切になると云います。討論では、次のような意見がありました。○産業別個人加盟ユニオンというのは静岡では何があるのかな。○JMITUの地域支部というのが西部の労働相談・個人加盟ユニオンの受け皿になっている。ローカルユニオン静岡が静岡県評傘下で静岡市にある。建交労も産別個人加盟ユニオンとしてある。○連合の地域ユニオンが結構やっている。もともと総評のときコミュニティユニオンというのをつくっていて、それが継続している。自治労なのでそこそきち

次回学習会は次のとおりです。5月号を持って

お気軽にご参加ください。

日時 5月11日(水) 18:30~

場所 国労小会議室



ンとした活動をしているようだ。○やはり一定お金がないとできない。○連合はもともとは重視していなかったが、2000年代頃から重視し金も出しているようだ。○そういうところとの交流はないの？○全労連はわからないが、連合傘下と全労協関係で交流はあるようだ。県共闘のふれあいユニオンなんかもあるようだ。○そういうところは、人間関係重視でやっている。○年金者組合みたいに遊びが中心なのか。○遊びは大事なのだ。○連合は「連合メイト」という組織がある。すぐに労組に入れない人でも繋がりをもてる組織だ。お金がいらなくて、登録だけして、相談できたりする。○やはり金があるからできるんだ。○ローカルユニオン静岡の労働相談もハラスメントが多いのか。○ほとんどハラスメントだ。で未組織が圧倒的だ。○そういう点では人間関係に悩んでいる人が多いということだ。